

令和元年度土地家屋調査士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の土地家屋調査士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

○ 午前の部

【第11問】

- 問1 方向角及び座標値から夾角及び距離を求める計算の基本的知識
- 問2 夾角及び距離から座標値を求める計算の基本的知識
- 問3 内分点の座標値を求める計算の基本的知識
- 問4 座標法による面積計算の基本的知識
- 問5 図面の正確な作成

○ 午後の部

【第21問】

- 問1 既知点からの距離及び方向角並びに交点計算を用いた座標値の算出
- 問2 筆界特定の手続における対象土地、関係土地及び関係人に関する正確な理解
- 問3 土地の地積に関する更正の登記及び分筆の登記の申請書の記載に関する正確な理解
- 問4 問3の登記の申請書に添付する地積測量図の正確な作成

【第22問】

- 問1 区分建物についての建物の表題登記の申請書の記載に関する正確な理解
- 問2 建物の名称を変更した場合において申請すべき登記の目的、当該登記を申請すべき期間及び申請を怠った場合の罰則に関する正確な理解
- 問3 問1の登記の申請書に添付する建物図面及び各階平面図の正確な作成